

## 会 議 録

会議名	令和3年度第3回東浦町社会教育委員会	
開催日時	令和4年3月17日（木） 午後2時から午後4時まで	
開催場所	東浦町勤労福祉会館 会議室1	
出席者	委員	石原弘幸氏、久米さちへ氏、松下玲子氏、平井伸幸氏、二宮邦子氏、水野智美氏、高崎義幸氏、月原康雄氏、外山淳子氏、梶山博史氏、橋本一男氏、原田正治氏
	事務局	教育長、教育部長、生涯学習課長、図書館長、スポーツ課長、生涯学習係長、文化財係長、生涯学習指導員
欠席者	平松進吾氏	
議題	1 令和4年度の取組について 2 その他	
傍聴者の数	1名	
審議内容		
<p>◆あいさつ 委員長 教育長</p> <p>以降は委員長が議事を取り回す。</p> <p>◇委員長 次第に従い、議事を進める。議事1「令和4年度の取組」について事務局から説明を求める。</p> <p>◆事務局 ○生涯学習課の取組について、配付資料に基づき説明。 〈ポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設や設備を適正に維持管理して施設の長寿命化を図るために、文化センターならびに地区コミュニティセンターの改修事業を行う。</li> <li>・成人式を「(仮称)二十歳のつどい」と名称変更して、あいち健康プラザで行う。</li> <li>・親子ふれあいイベントは、家庭教育の一助として、またイベント運営に高校生を参加させて主体性や自主性を育てるなどの目的で、秋ごろ藤江地区を中心に実施する。</li> <li>・文化センターが、令和3年3月16日より新型コロナワクチン接種会場となっているため、地区のコミュニティセンターや他の施設を利用して、事業を計画していく。</li> </ul>		

○文化財・資料館の取組について、配付資料に基づき説明。

〈ポイント〉

- ・委託料に、「緒川城址保存修復調査、緒川村郷蔵調査」を計上し、調査を実施していく。「緒川城址修復調査」については、土塁が唯一現存しているが、土塁の側面の一部に崩れが生じている。土の崩落を防ぐ保存修復方法を検討するための測量調査や地質調査を行う。「緒川村郷蔵調査」については、緒川コミュニティセンター敷地内にある江戸時代に建てられたと思われる蔵の屋根が一部崩れている。また、町道の拡幅計画もある。そこで、まず建物の測量をして、図面を取る調査を実施する。
- ・文化財案内看板を緒川コミュニティセンター内に設置する。天白遺跡ひろばや入海貝塚を活用した史跡散策コースのための案内看板とする。
- ・春、秋の企画展のほかに、ミニ企画展を3回計画している。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。

◇委員

昨年、この会で天白遺跡ひろばの整備事業を行うと説明があった。東浦町のホームページを見ると3月1日に完成したことがわかるが、この会で実施状況がどうなったかという報告があるとよかった。また、来年度は完成した天白遺跡ひろばの案内看板を設置するという提案であったが、どのように活用していくかの提案もあったとよかった。

◆事務局

天白遺跡ひろばについては、今年の3月1日に一般公開された。天白地区の区画整理の発掘調査で、大規模な遺跡が残っていたことが分かった。もともと土地区画整理地内に、公園建築が予定されていたので、そこを遺跡ひろばとして令和3年度に整備した。まずおよそ350㎡の広さに盛土をして、遺跡を保存した。その上に、竪穴建物を復元することはできなかったが、地表面に弥生時代の竪穴建物、古墳時代の竪穴建物の跡が分かるようにカラー舗装で色分けして整備した。公開に当たっては、ホームページで紹介したり、資料館に出土遺物を展示したりして広報していきたい。令和4年度は、散策コースを設けて、現地を見ていただけるように文化財案内看板を立てることにした。また、ふるさとガイドにも地域の歴史ガイドのコースの中でPRしてもらえるようにしていきたい。

◇委員

天白遺跡ひろばの近くには、緒川小学校や北部中学校があるので、授業の一環で見学してもらうこともできると思われる。また、一般の方が見学するための駐車場を緒川コミュニティセンターにするということであったが、天白遺跡ひろばに近い岡田川テニスコートの駐車場も活用するなど見学しやすいようにしてもらいたい。

◇委員長

知多半島で有数の遺跡が発掘されたので、いかにしてPRするのか検討してほしい。また、町民の方にも見学していただけるような遺跡ひろばにしていってもらいたい。

◆事務局

社会教育委員のみなさまには、天白遺跡ひろばがオープンしたことを文書などで事前に知らせるべきであった。または、本日の会議で写真などを利用して紹介したほうがよかった。新年度の第1回社会教育委員会で事業報告をする予定であるが、今後は、今回のような大きな事業については、年度内に完成した場合は報告するようにしたい。

◇委員

文化協会に登録している人は1000人ほどいると思う。この人たちが、東浦町の文化・教養のベシクを支えていると思う。また、文化協会の方々が努力してくださって、毎年展示会を開いている。しかし、見学者が少ないと思う。昨年のお春文化展は、従来と違ったオープニングセレモニーで素晴らしかった。Facebookなどを見ても、「よかった」という意見が多かった。今年も「よかった」という意見が多いと思う。しかし、企画をする側、計画を支える側の意識としては、高みを目指さないといけないと思う。自分としては、昨年は、「コロナに負けない」という視点が少なかったと思う。「しのめ」の中に、東浦町が100年前に経験した「コレラ」に対応した藤江の話や資料が町誌の中に残っているということが書かれていた。これを整理して、文化展の中で、行政が展示会の1コーナーとして紹介することもできるのではないかと話したことがある。今年どんな工夫があるかと楽しみにしていた。立派なお春文化展だったと思うが、もう少し工夫すればとも感じた。それは、東浦町には、「多文化共生ひがしうら」が一生懸命活動している。その活動の作品が出てくるとよいと思った。すなわち、行政が時代にあった企画を工夫することが大切であり、文化協会と一緒にやるという視点も必要ではないか。

◇委員長

ただ企画をさせるのではなくて、もっともっと工夫がいるのではないかという貴重な意見をいただいた。また、「多文化共生ひがしうら」は活動を頑張っているのもので、その発表の場を作っただけだとよいということであった。

◆事務局

貴重なご意見ありがとうございました。文化展は、文化協会の作品展示がメインになっている。今後は、時代情勢も含めた提案ができるように文化協会の方とも話し合っていきたい。新型コロナウイルスの問題についても、資料館が行う企画展「SDGsってなあに？」で、先人たちの苦勞なども展示していきたい。

◇委員

文化財のことですが、「緒川城址保存修復調査、緒川村郷蔵調査」については、文化財保護審議会の方々が町内を見られて指摘されたのか、それとも郷土資料館のみなさんがどうしたらいいか検討して出てきたものか教えてほしい。

◆事務局

「緒川村郷蔵調査」については、以前から町と文化財保護審議会の両方で検討されていた。その中で、昨年度、雨漏りが発見された。また、道路の拡張計画もあり、現状のまま郷蔵を保存していくことが難しいということで検討した。建物の価値についても専門の大学の先生に調査してもらった。その上で、来年度は調査を行い、建物の記録をして今後のことを検討することとした。「緒川城址」についても、何年も前から側面が崩れていたということであり、また、「緒川城址」の土塁の記録がそもそも

なかったので調査することにした。それをもとに修復計画を立てていきたい。

◇委員長

そのほかとして、「親子ふれあいイベント」は、来年度藤江地区で行われるということであった。非常に素晴らしい事業なので頑張してほしい。

◇委員

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、中止になった事業がいくつかある。「こどものまち」は今年度も中止になったのか。

◆事務局

「こどものまち」は、2年度・3年度と中止になっている。このイベントは、子どもたちのふれあいが密になるのでできなかった。来年度についても、新型コロナの状況が分からないので中止と考えている。また、「ミュージックフェスティバル」や「うの花音楽祭」も中止になった。これらの事業については、来年度は実施の方向で検討している。

◇委員

「こどものまち」は、いろいろ検討されて素晴らしいイベントになってきたので、このままなくなるのではなく、工夫をして復活させてほしい。

◆事務局

来年度については、「こどものまち」のリーダー育成的な要素については、「親子ふれあいイベント」で、中学生や高校生のスタッフを募集して育てていこうと計画している。

◇委員長

「こどものまち」は素晴らしいイベントであったので、今後も検討してほしい。生涯学習課へのさらなる意見がないことを確認し、続いて図書館の説明を求める。

◆事務局

○図書館に係る取組について、配付資料に基づき説明。

〈ポイント〉

- ・4月より、指定管理者制度を導入する。現在行われている図書館サービスは継続し、さらに指定管理者ならではの取組を行うことにより、図書館サービスを向上させることを目的としている。
- ・指定管理者は、株式会社図書館流通センター(通称TRC)である。
- ・指定管理者からの主な提案事業は、電子図書館の導入、学習席管理システムの導入、ICタグの貼付。
- ・図書館に在籍している職員は、数名が生涯学習課に異動して図書館業務を担当する。
- ・施設の長寿命化を図るために、老朽化した屋根防水を改修する。

◇委員長

図書館の指定管理者制度の導入を中心に説明があった。現在の図書館長みたいな立場の人はいるのか。

◆事務局

現在引き継ぎを進めているが、TRCから館長が来る。また、副館長職もいる。

◇委員長

役場の人で課長職のような人は図書館に入らないのか。また、数名の職員は、生涯学習課に籍を置いて、図書館で勤務するのか。

◆事務局

はい、その通りです。

◇委員

社会教育委員として話を聞かなくてはいけないことは何かと考える。今の説明は、議会、役場、図書館協議会などで今までにずいぶん検討されてきたことと思う。説明について検討することは少ないと思う。自分たち社会教育委員ができることは、地域にとって親しまれる図書館とはどういう姿なのかを検討することだと思う。そして、検討された内容について、行政が活かしていくプロセスが必要であったのか。今後は、社会教育委員として、行政に対して提案できるような社会教育委員会であるといいと思う。例えば、2016年4月の新聞に、「ぐるぐる図書館」について掲載してあった。町中に保管図書館作って、コミュニティの中に根ざしていく活動であった。これがどういうふうに使われ、今後どういうふうに使われていくのかを話し合えるような場作りをお願いしたい。

◇委員

会計年度職員が、今年度は21名いるということであった。先ほどの説明では、来年度は全員ではないが、4月より新しい図書館に引き続き勤めるということであったが、何人が残るのか。町民にとっても、知っている人が居ると居ないとでは、図書館の利用にも影響するのでは。

◆事務局

現在は、町職員と会計年度職員29名で運営しているが、4月からは17名で運営する。会計年度職員は11名が残る。残りは、TRCの他館で働いている方や新規採用された方である。

◇委員

職員が10名ほど減っている。この人数で大丈夫か今後みていかなければいけないと考える。

◆事務局

先ほど指摘をいただいた「ぐるぐる図書館」は、コロナ禍でなかなか実施できないが、現在13カ所ある。4月からも引き継いで行われる。コロナが治まれば、もう少し盛り上げていけると考えている。現在図書館で行っている事業は、基本的には引き継いで行われる。さらに、それ以上のものを進めていくということである。

◇委員長

町の予算を毎年約1億円使って行われる事業であり、3年間継続する。3年間終了したら、事業者が変わるという可能性はあるのか。変われば、またシステムが変わるという心配はないか。

◆事務局

現在TRCが受託している他館の様子をみると、期間を過ぎた後も継続して行われるところが多い。全国的に、図書館業界ではTRCが大手であり、他の業者が太刀打ちできないところがある。ただ、他の業者が引き継いだとしても、町の図書館に変わりはないので、事業は継続して行われ、サービスが落ちるといったことがないように、生涯学習課の図書館担当でみていきたい。

◇委員

毎月新刊を購入されていると思う。東浦町が購入する図書の傾向や住民への貸し出し傾向が分かるような分析資料は今後の図書館事業にも役立つと思われるので、継続してほしい。

◇委員長

今になって、指定管理者制度についていろいろな疑問が出てきている。新年度になって、またみんなで話し合っ、疑問を解決していきたい。

図書館へのさらなる意見がないことを確認し、続いてスポーツ課の説明を求める。

◆事務局

○スポーツ課に係る取組について、配付資料に基づき説明。

〈ポイント〉

- ・体育館のトイレ改修工事は、当初来年度設計、5年度改修工事となっていた。しかし、来年度、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、6月末に設計、その後工事に入る計画になった。トイレの洋式化、水道の自動水栓化を行い、衛生環境の充実を図っていく。
- ・社会体育一般事業費の中の「スポーツ少年団補助金」の交付団体が、昨年度より1団体(バスケットボール)増えた。
- ・東浦みどり浜緑地にはサッカーグラウンドが2面ある。その南側の県が整備している多目的グラウンドは、海に面している。その多目的グラウンドはサッカーの試合前のアップ場所としても使用されるので、海岸沿いに高さ80cm、長さ140mほどのフェンスの設置工事を予定している。
- ・藤江コミュニティセンターは、災害時の避難場所にも指定されている。そこで、多目的トイレの設置、和式トイレの洋式化などを計画している。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。

◇委員

資料の項目の中に、「SDGs11, 17」とか書かれているが、どういう意味があるのか教えてほしい。

◆事務局

本日配布された資料館のチラシに書かれているが、それぞれの予算項目が、「SDGs」の17項目のうちの何番の目標に関連しているかを示している。

◇委員

みどり浜緑地のフェンスについて、高さが80cmで本当にボールが止まるのか心配である。

◆事務局

多目的グラウンドは、サッカー専用のアップグラウンドと考えていない。一般のお子さんの散策など多目的な用途があるグラウンドとして整備している。ボールが転がった状態で海にいかないことを想定している。あまり高いフェンスだと圧迫感があったり、傾いたりする恐れもあるので、80cmと考えている。

◇委員長

議事1へのさらなる意見がないことを確認し、審議終了を宣告。

議事2「その他」について確認する。委員のみなさまから、東浦町の社会教育等について、日頃考えていることや聞きたいことをだしていきたいと考えている。

◇委員

本日は、新春文化展の話題が出た。東浦町の小中学校では、毎年文化センターで造形展を行っている。今年度は、文化センターが使えないということで、役場のロビーを使って、各学校1校ずつ展示をさせてもらった。役場は、土曜日・日曜日が休みであり、見学者が少なかった。来年度以降も小中学校の造形展を続けていくについて、文化センターが使えない場合は、合同でできる場所をどこか貸してもらえないかという要望である。新春文化展では、習字のグループがイオン会場を借りていた。小中学校の部会では会場費は出ないようなので、教育委員会か生涯学習課が、造形展でもイオン会場を無料または格安で借りられないか検討してほしい。

◆事務局

役場は土曜日・日曜日は空いていないので、保護者に見に来ていただくことができなかった。平日の昼間も見学者は少ない状況であった。夕方には保護者が見に来ていたようである。イオンの会場は、今までは、役場が主催する場合は無料で貸していただけだ。来年度からは有料になるということであった。ただ、内容によっては、無料になることがあるかもしれないので、交渉していく余地はあると思っている。文化センターがいつまで使えないかは、まだはっきりしていない。新型コロナワクチンの集団接種が終わるまでは難しい。集団接種が終了したら利用してもらいたい。また、その際は、文化協会の方から、以前子どもたちと一っしょに展示してもいいのではと話をいただいたことがあるので、是非とも一っしょにやっていただけるといいと思っている。学校教育課では、小中学校の造形展は続けていきたいと考えているので、みなさんが喜んでいけるような形にしたい。

◇委員

来年度については、制作活動もあるので早めに決めていただきたい。

◆事務局

時期などについては、指導主事や学校の担当の先生と話し合いながら決めていきたい。その時期に文化センターが使えるかは別の話である。使えないのであれば、別の場所、例えば勤労福祉会館や緒川コミュニティセンターも考えられるので、相談したい。

◇委員

子どもたちの発表の場を古い工場の跡地や広い古民家で行うというような発想で取り組むと学校と離れた地域との関わりが実現できる第一歩ではないかと思う。公共施設だけでなく、工場の跡地を探すなどができるのが教育委員会だと思っている。

◇委員長

せっかくの子どもたちの発表の場であるので、みなさんに見てもらえるような場の提供をよろしくお願ひしたい。

◇委員

こども読書推進活動に参加して、今後図書館がどう変わっていくかについての話し合いが行われた。他の図書館のいいところを東浦の図書館にも盛り込んで、よりよい図書館になるといいという建設的な話し合いが行われた。4月1日以降の図書館を楽しみにしている。

◇委員

本日は、「コロナに負けない文化展」から話が広がった。コロナに負けない工夫もみられた。先日、東浦中学校の卒業式に参加させてもらった。今は合唱ができないので、先生が一人ひとりの歌を録音して編集し、合唱に見立てて流し感動的であった。また、卒業生は、修学旅行に行ったり、合唱コンクールに変わるボディーパーカッションコンクールを行ったりと、先生と生徒の工夫や努力で行事ができたと感じた。生涯学習課でも、「親子のふれあいイベント」などいろいろな工夫をして事業を行っている。中止になるものも多いと思うが、今後も交流の場を作っていけるように工夫していってもらいたい。

◇委員

先ほど話題になった造形展の場所について、体育館で行うという発想はないか。豊明市の福祉会館の体育館では行っているので、検討してみてもどうか。また、図書館のことについてであるが、司書資格を持っている人はどれくらいいるか教えてほしい。

◆事務局

4月からは、17名のうち10名が資格を持っている。現在は25%程度であるが、4月からは50%を越えると聞いている。

◇委員

コロナ禍が2年続いて、今の小学校の1・2年生は黙食が当たり前になっている。楽しく給食を食べる機会がない。また、体育祭や町の行事も縮小されている。人のふれあえる機会もなくなってきた。コロナの出口が見えてきたので、今まで通りには戻らないかも知れないが、本日コロナ禍でも工夫次第で事業ができるということを知ることができてよかった。いろいろなアイデアは、こういう話し合いの中で出てくるので、積極的にできるようになるとよいと思った。

◇委員

先日、「愛知・地域づくり推進大会」に参加して、studio-L代表の山崎さんのお話が印象的であった。演題は、「これからの公民館を核とした地域づくりについて」であるが、これだけに留まらず幅広いお話を聞くことができた。「社会教育委員が前面に出て、住民と公共施設をつなぐ役割をするべきである」という話であった。たいへん共感することができた。また、資料3を見ていたら、「社会教育委員の出番をつくるべき」「年3回の会議が形骸化している」「地域のコーディネーターをつくる」などという言葉が出ていた。まさにその通りだと思った。時間の都合上難しいのかも知れないが、地域の熱意ある人に活躍してもらえる機会を設けることが、東浦町のために

なるのではと考えている。

◇委員

先日於大公園に行ったら、プールが解体されていた。また、小学校のプールも使っていないようであるが、今後の計画はどうなっているのか。

◆事務局

於大公園のプールは解体して、駐車場や新たな広場を作っていく計画がある。小中学校のプールについては、中学校はそのままプールを使用していく。小学校のプールについては、今後プール事業を民間委託に切り替えていく計画である。今年度は3小学校(片葩小学校、石浜西小学校、卯ノ里小学校)がコパンでプール指導を行っている。ただ、コロナ禍で、全て計画通りにはできなかった。来年度は、2校(藤江小学校、生路小学校)を加える。最終的に、小学校7校が民間委託になる予定である。小学校のプールの跡地については、今は防災用の水を貯めておく場所になっているが、そのままの活用でいくか他の利用を考えるかは未定である。

◇委員

東浦町を訪問した冬季オリンピックに出場した国武選手のことが、本日の新聞にも出ていた。しかし、東浦町では、国武選手に対する応援の横幕などが一つも出ていなかったと思う。こういうことで、第6次東浦町総合計画の「『幸せ』と『絆』を実感できるまちに向けた今後3年間の事業計画」の絆が生まれるのか疑問である。

◇委員長

貴重なご意見をいただいた。また、みなさんの日ごろのお考えも知ることができた。実は、東浦町が、令和7年度に愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部の研修会で実践報告をしなければならないことになっている。今後、こういう会の中で、みなさんと話し合う機会を多くもって、社会教育としての課題を考え、検討していきたい。他に質問意見がないことを確認し、議事の終了を宣告。

◆事務局

次回の委員会について連絡。次回は、5月に予定。日時は後日連絡。

備 考

なし